

## 全日本フットサル 八学大女子サッカー一部3位



# 「初戦大勝で流れ乗れた」

## 確かな手応え 次戦へ意気込み

11月2日から3日、大会には各地区代表となった。石川県で行われた第16回全日本女子フットサル選手権（日本サッカー協会主催）で、3位に輝いた八戸学院大女子サッカー部が11月28日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に入賞の喜びを報告した。

大会には各地区代表となった。市庁で畑中孝太監督は、「まさか、ここまで分かれた予選グループで勝ち進めるとは思っていなかった」と、戦いぶりに手応えを感じた様子。横濱菜奈主将は「初戦に大勝できたことで流れに乗れた。チームに一体感が生まれ、好成績を残せた」と笑顔を見せた。

チームは、24日に兵庫県で開催する第28回全日本大学女子サッカー選手権への出場を控えている。小林市長は「フットサルで相当な自信を付けてきたはず。悔いなく戦ってほしい」と激励。横濱主将は「チームで目標を一つにして、まずは1回戦突破を目指す」と意気込みを語った。（上村公悟）

小林眞市長（左）に3位の報告をした八戸学院大女子サッカー部の選手ら